

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演 四目

東濃歌舞伎中津川保存会（中津川市）

当保存会は、江戸時代に、中山道中津川宿の旦那衆が芝居小屋で上演していたのが始まりだといわれています。その後、幾度かの変遷を経て、平成三年に現在の東濃歌舞伎中津川保存会となりました。

昭和二十七年の中津川文化祭での公演を皮切りに、毎年定期公演を続けています。保存会独自のオリジナルの芸題も多く、岐阜県及び中津川市と連携して、中国、香港、シンガポール、フランス、イギリス、タイ、ニューヨーク、リトアニア、オーストラリアなどの海外での公演実績もあります。海外の公演では、岐阜県の代表として地歌舞伎を披露する機会となるため、張り切つて稽古に励んでいます。本番では、地歌舞伎の魅力を思う存分アピールし、毎回、高い評価をいただいています。

今回上演する演目は、NHK大ホールや愛知県芸術劇場大ホールにて上演した演目です。

最近では会員数も増え、中村高女師匠一門の加賀家に伝わる台本の復活狂言にも取り組むなど、小学校低学年から高齢者まで年齢の枠を越えて活動を行っています。



常盤座歌舞伎保存会（中津川市）

中津川市の旧恵那郡福岡町は、地歌舞伎が大変盛んな地域です。当保存会の活動拠点「常盤座」は、明治二十四年に小屋開きが行われました。常盤座は、明治期の劇場形式を残す木造の芝居小屋で、平成八年の大改修では、半世紀ぶりに回り舞台などが整備されました。この常盤座で行われる地歌舞伎公演は、小屋開き当時そのままの熱気に満ち溢れています。地歌舞伎のほかにも、演劇や映画上映などが行われており、地域の文化交流の場として親しまれています。

当保存会では、伝統文化の継承と子どもたちの健全育成を図るため、子ども歌舞伎教室を常盤座で開催しています。将来にわたって地歌舞伎を伝承していくための取組みとして、毎年三月の最終日曜日に行われる定期公演に合わせて、子ども歌舞伎教室発表会も実施しています。

昔はこの地域に四つあった歌舞伎小屋も、今は常盤座一つとなりましたが、この常盤座を未来へと受け継いでいくためにも、地歌舞伎ファンの獲得に努めています。



安心して参加いただくために、皆様のご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染予防対策について

- 発熱や風邪症状のある方は、参加をお控えください
- マスク着用の厳守（マスク非着用の方はご入場できません）
- 手指消毒及び検温の実施（37.5℃以上の方はご入場できません）
- ソーシャルディスタンスの確保
- 出演者への声援や歌唱、入り待ち、出待ちの禁止
- 公演中のおひねり、大向こうの禁止

※「岐阜県感染警戒QRシステム」の登録をお願いします。
ご登録をいただきますと、感染者が発生した場合、同じ日に来訪された方にメールでお知らせいたします。

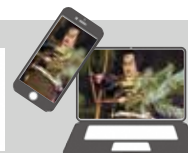
スタンプラリー再開



開催期間中、1公演ご鑑賞ごとにスタンプが1つたまります。スタンプ数に応じて素敵なグッズをプレゼント！
※木札を忘れずにお持ちください。

ぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネル

本公演の様態を収録し、後日配信します。



地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演 四目

2021年4月18日（日）

◆開演 14時00分（開場13時00分）

◆会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

◆上演外題・出演

14時00分（80分）

ぞうほやおやのこんだて しんうつほやおや
増補八百屋献立 新鞍八百屋の場

東濃歌舞伎中津川保存会（中津川市）

15時40分（45分）

すがわらでんじゅてならいかがみ くるまびき ば
菅原伝授手習鑑 車曳の場

常盤座歌舞伎保存会（中津川市）

◆終演 16時25分（予定） 演目・上演順は変更となる場合があります。



イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、
分かりやすく解説します。



古典芸能解説者 葛西 聖司氏



